

市場概況・今後の見通し

【12月の市場概況】

<株式>

ドイツDAX指数は、大幅上昇となり約1年5か月ぶりの高値で引けました。ECB(欧州中央銀行)による量的金融緩和策の延長が好感され、大手自動車株や銀行株の上昇が指数を牽引しました。

英FTSE100指数は、月末にかけて3日連続で史上最高値を更新しました。英ポンド安を背景に輸出企業の業績改善が意識されたほか、月間では石油株や一部の銀行株の上昇が目立ちました。

<為替>

FOMC(米連邦公開市場委員会)を受けて先行きの米利上げペースが加速するとの見方が強まったほか、日米株式の上昇でリスク選好の動きが加速し、米ドル高が進行するなか、ユーロや英ポンドは対米ドルでは下落したものの、対円では上昇しました。

【今後の見通し】

ユーロ圏では、企業景況感の改善が続いており、先行きも緩やかな景気回復の継続が見込まれます。

英国は、足もとの景気は底堅い一方、先行きは英ポンド安による物価上昇やEU(欧州連合)離脱問題を巡る不透明感の高まりによる悪影響が懸念されます。

<株式>

ユーロ圏、英国とも、景気が底堅く推移する中、対米ドルでの通貨安や原油高が株価の下支えとなる一方、イタリアの銀行不良債権問題や英国のEU離脱通告など政治面での不透明要因がくすぶることから、もみ合い推移が見込まれます。

<為替>

ユーロ/円、英ポンド/円とも、日欧の金利差や金融政策方針の差異から底堅い展開が見込まれます。ただし、昨年11月の米大統領選挙以降、円安進行のピッチが速いことから、トランプ米次期大統領の発言などきっかけに一時的に利益確定目的の円買いが強まる場面もありそうです。

主要株式市場・為替市場の推移(2011年12月末～2016年12月末)



【12月のマーケットデータ】

		12月末	11月末	騰落率	最低	最高
株式	DAX(ドイツ)	11,481.06	10,640.30	7.90%	10,513.35	11,481.06
	FTSE100(英)	7,142.83	6,783.79	5.29%	6,730.72	7,142.83
為替	ユーロ/円	122.70	119.70	2.51%	120.27	123.46
	英ポンド/円	143.00	140.46	1.81%	142.92	147.44

※為替のデータは本邦営業日ベース、為替の騰落率はプラスは円安、マイナス(▲)は円高

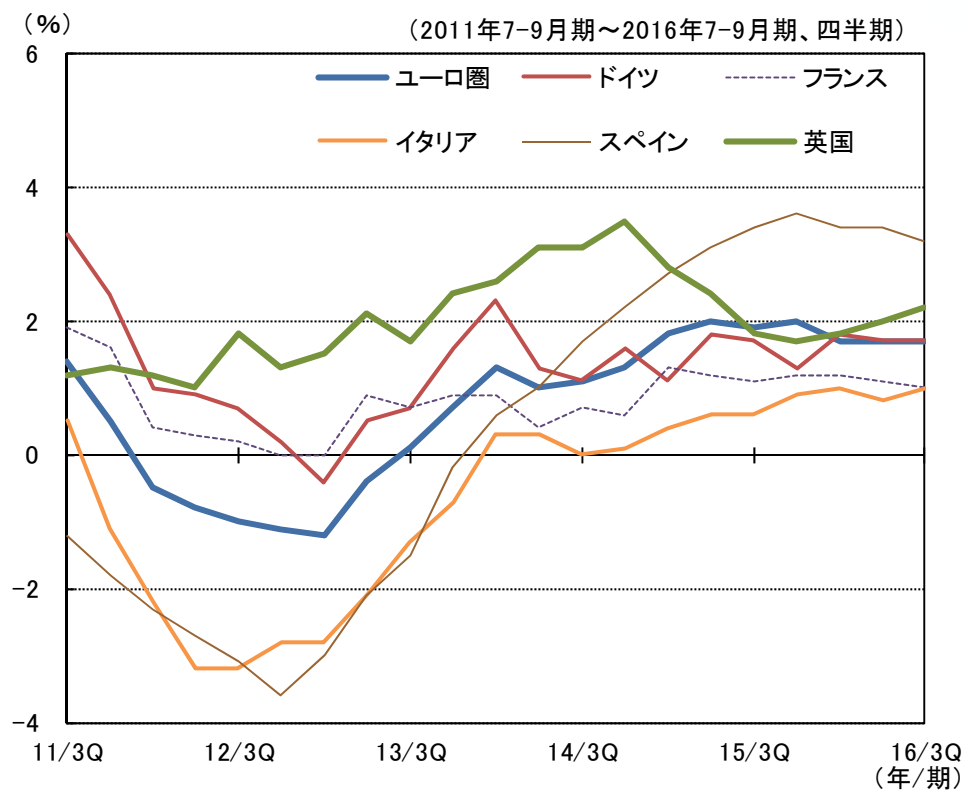
(出所)Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州経済①

○2016年7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率(確報値)は、ユーロ圏が前年同期比+1.7%(前期比+0.3%)。英国は同+2.2%(同+0.6%)。

○ユーロ圏消費者信頼感指数(12月)は前月比+1.1の▲5.1、1年8か月ぶりの高水準。景況感指数(12月)は同+1.2の107.8、4か月連続で上昇。

実質GDP成長率(前年同期比)



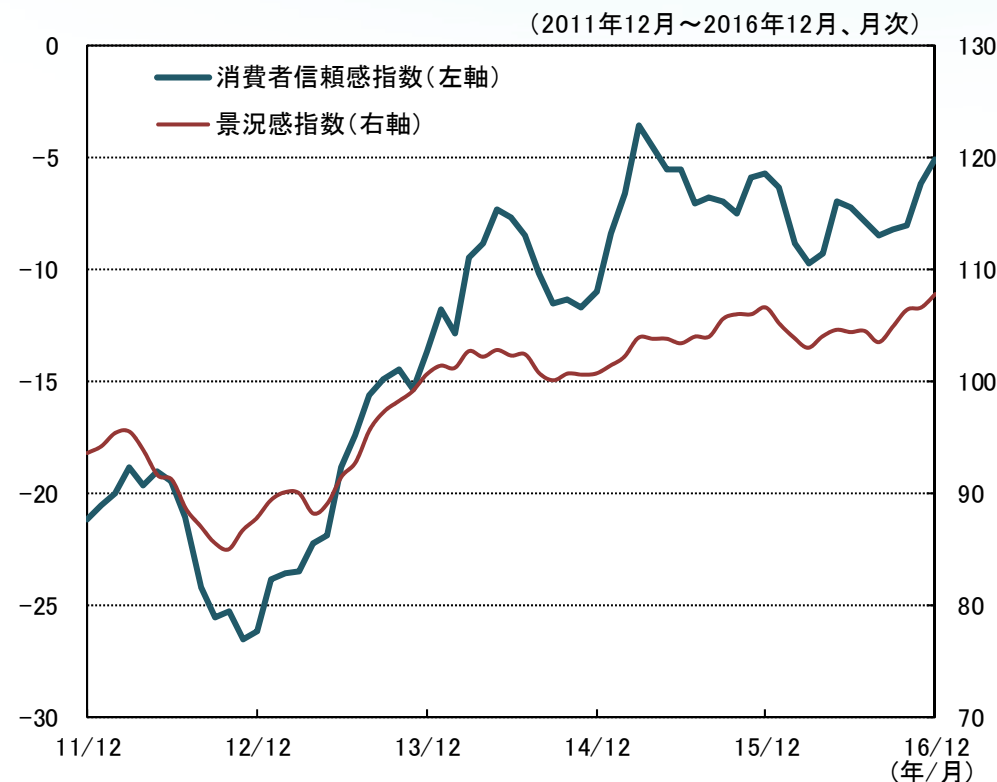
※3Qは7-9月期を意味し、例えば11/3Qは2011年7月から9月の3か月間を示す。

※Eurostat公表ベース。ただし、英国は英国統計局公表ベース

※季節調整済み

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州委員会マインド指標(ユーロ圏)



※季節調整済み

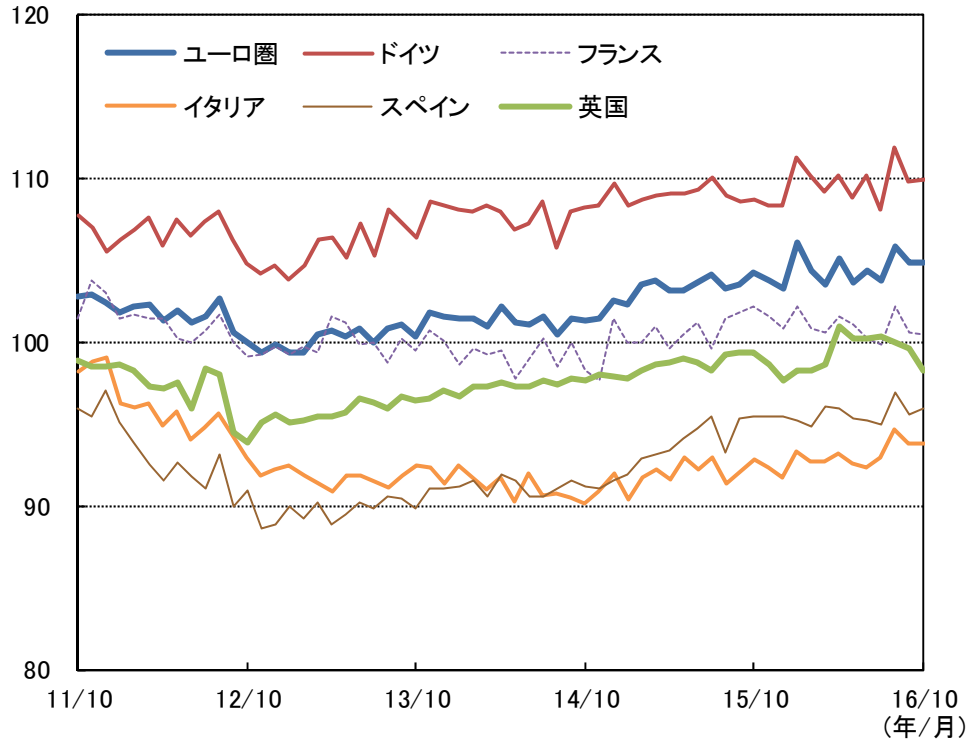
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州経済②

- 鉱工業生産指数は、ユーロ圏(10月)が前月比▲0.1%、2カ月連続で低下。英国(10月)は前月比▲1.3%、3カ月連続で低下。
- 小売売上高指数は、ユーロ圏(11月)が前月比▲0.4%、2カ月ぶりに低下。英国(11月)は前月比+0.5%、5カ月連続で上昇。

鉱工業生産指数

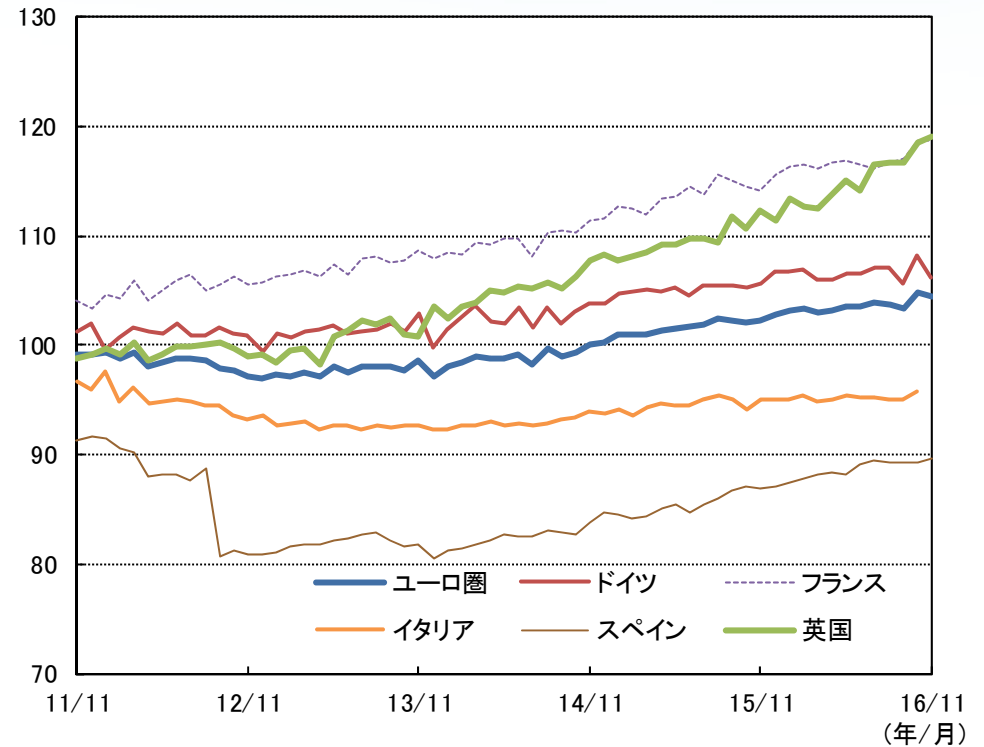
(2011年10月～2016年10月、月次)



※Eurostat公表ベース
 ※季節調整済み
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

小売売上高指数

(2011年11月～2016年11月、月次)

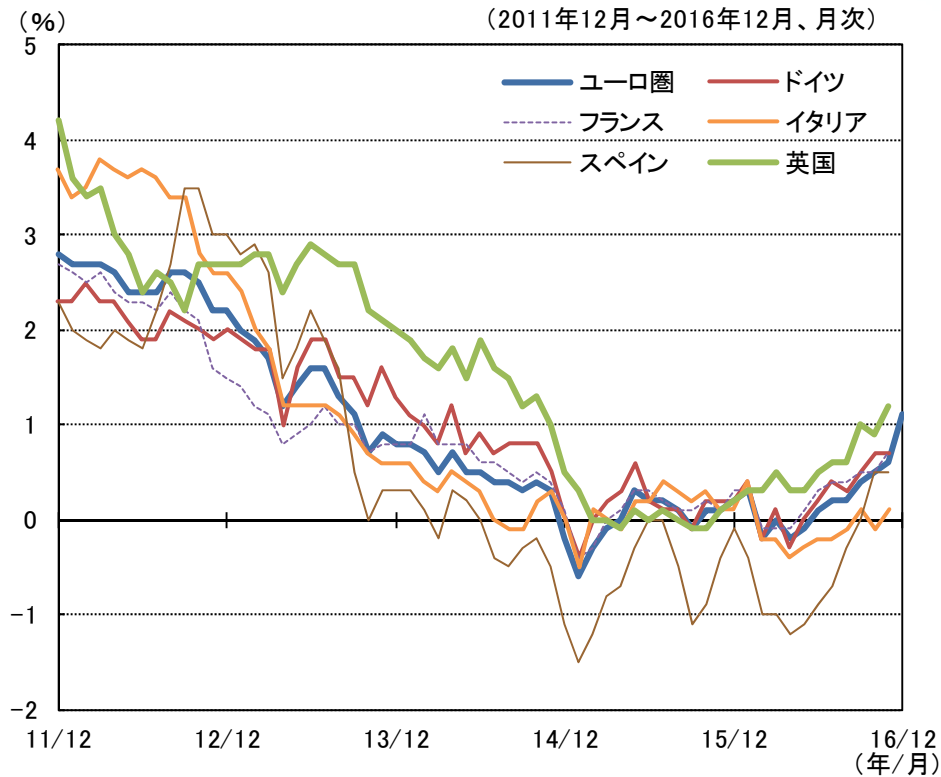


※イタリアは2016年10月までのデータを使用
 ※Eurostat公表ベース
 ※季節調整済み
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州経済③

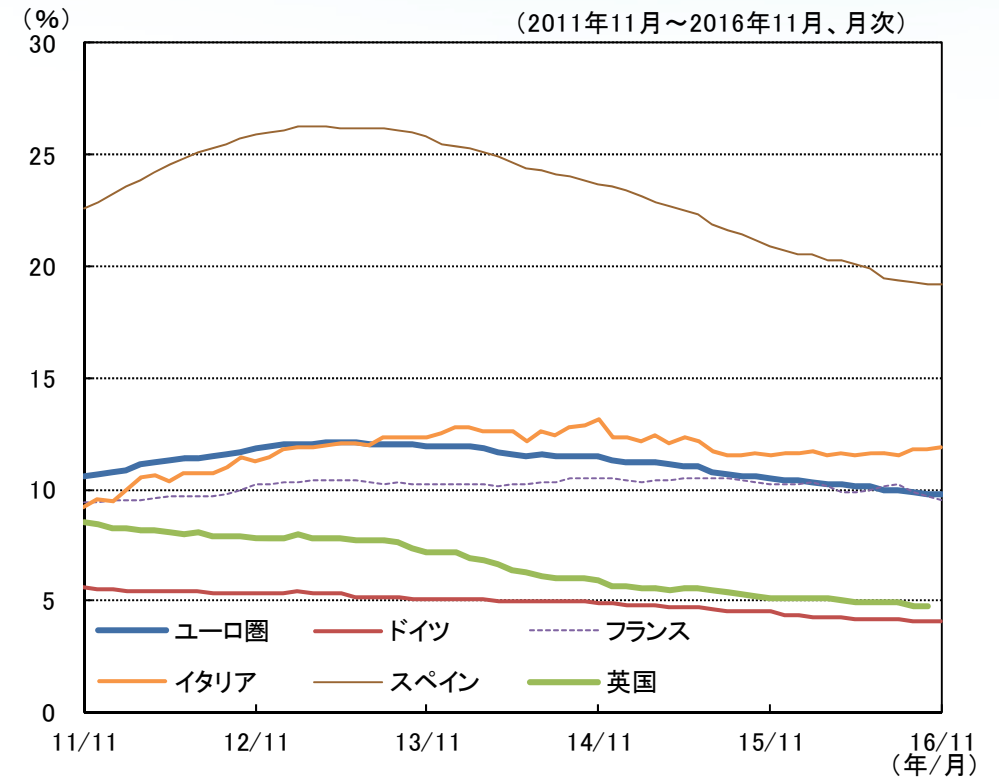
- 消費者物価指数は、ユーロ圏(12月、速報値)は前年同月比+1.1%、3年3か月ぶりの高い伸び。英国(11月)は同+1.2%、2年1か月ぶりの高い伸び。
- 失業率は、ユーロ圏(11月)は前月から横ばいの9.8%。英国(2016年8月-10月)は前月発表値(2016年7月-9月)と同じ4.8%。

消費者物価指数(前年同月比)



※ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、英国は2016年11月までのデータを使用
 ※Eurostat公表ベース。ただし、英国は英国統計局公表ベース
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

失業率

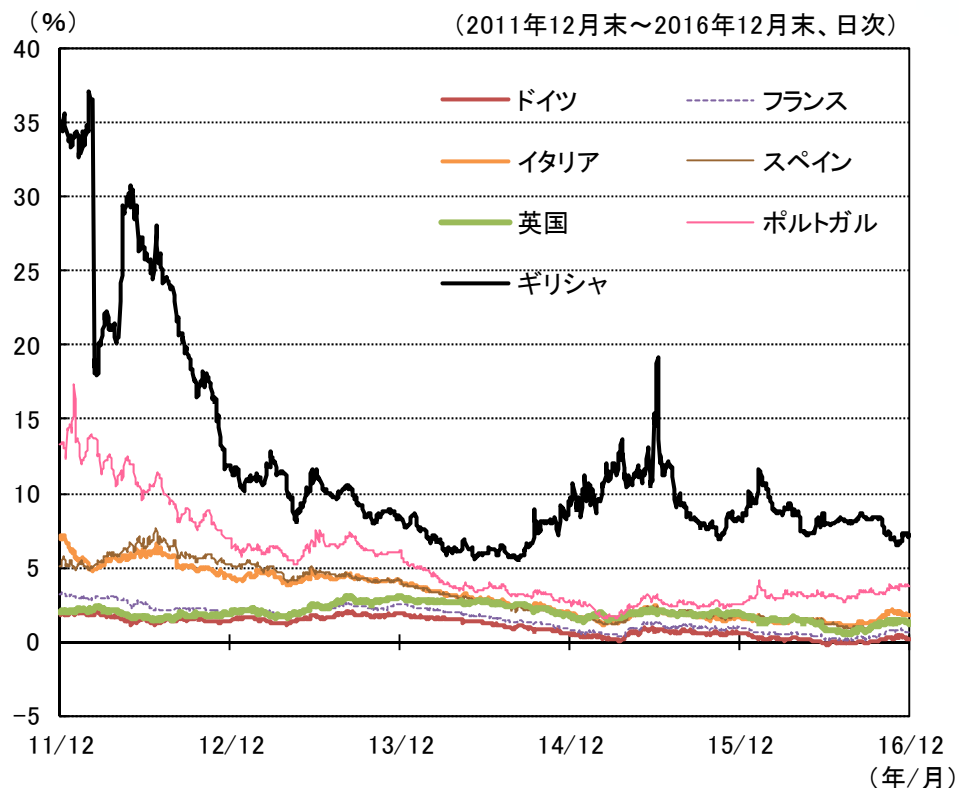


※英国は2016年8月-10月までのデータを使用
 ※Eurostat公表ベース。ただし、英国は英国統計局公表ベース(国際労働機関基準)
 ※季節調整済み
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州金利・株式

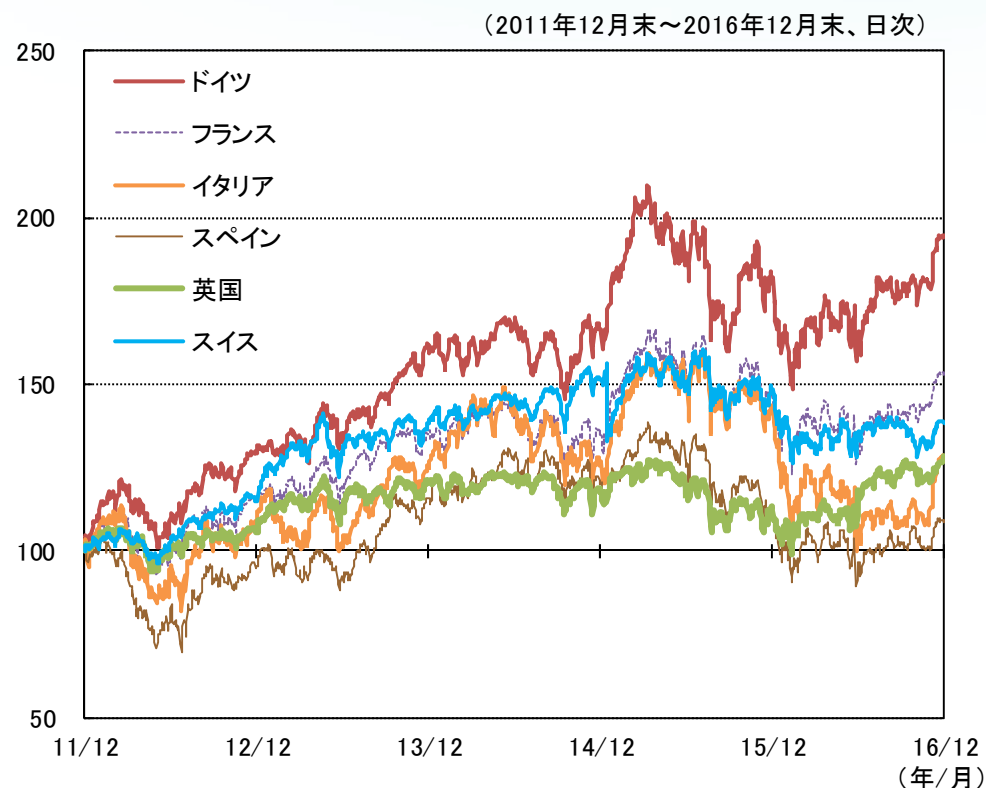
- 欧州の10年国債利回りは、多くの国で低下。イタリア政府が不良債権を抱える銀行に対する公的支援の実施を決定したことが好感された。
- 欧州株式は、総じて上昇。ECBによる量的金融緩和策の延長、イタリアの銀行不良債権問題の進展期待、原油高などが株価を牽引した。

欧州各国の10年国債利回り



(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州各国の株価推移



※ドイツ: DAX、フランス: CAG40、イタリア: FTSE MIB、スペイン: IBEX35、
英国: FTSE100、スイス: SMI

※グラフ開始日を100として指数化

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。